

7. 国際放送への 「要請(命令)放送差し止め訴訟」

2009. 12. 1



- 2006年11月、菅総務大臣はNHK国際放送に「拉致問題を重点的に取り上げるよう」命令を出しました。
- これは憲法21条の言論・報道の自由を侵すものです。
- NHKはこれを受諾しました。2009年9月、政権が自民党から民主党に交代したので、大阪と兵庫の市民団体は「民主党原口総務大臣は放送命令を出すな」という裁判を大坂地裁に起こしました。兵庫の会から9名が原告として参加しました。
- 訴状には「NHKは国営放送でないから、自民党政権下のように国や総務大臣らに統治される悪しき慣習を繰り返してはならない」と記載しています。
- 後日、裁判所は「原告適格」を理由に却下しましたが、大阪高裁に控訴し、最高裁まで上告してたたかいました。

8. 番組改変事件 「その時 何があったのか」 関係者の証言 2010. 5. 29



- 2010年5月29日、「問われる戦時性暴力」番組改変事件の真相はどうだったのか？をテーマに集会を行いました。、事件の関係者が証言されました。
- 10年を経過した事件にもかかわらず、会場いっぱいの200人が参加し、関心の高さが示されました。
- しかし、NHKはBPO(放送倫理・番組向上機構)の意見書が出たにもかかわらず、これを認めず、反省がありません。
- 兵庫の会は、「①BPOの意見書を受け止め実行せよ。②改変前の番組を公開し、どこが変わったかを検証せよ。③長井・永田両氏の不当配転を認め、名誉回復をはかれ」の署名運動を無期限でつづけています。

9. シンポ「安保50年 密約・沖縄・メディアの責任」

2010. 10.24



- 2010年は、1960年の新安保条約締結から50年目。沖縄の基地問題が深刻化する中、10月24日、安保条約とメディアについて、シンポジウムを行いました。
- 第1部はドキュメンタリー「メディアの敗北」上映。沖縄の基地に関する「密約」を暴ききれなかったメディアの敗北を描いたもので、国民の知る権利が消された事件でした。
- 第2部では、3人のジャーナリストが退廃を深めるジャーナリズムの実態を告発しました。参加者は250人でした。

10. 地域に密着する沖縄メディアと 県民のたたかい 2011. 2. 27



- 2011年2月27日、琉球朝日放送からニュースキャスターの三上智恵さんを招いて講演とドキュメンタリー映画「海にすわる」を上映しました。
- 「海にすわる」も三上さんのお話も参加者に大きな感動を与えました。
- 会場は熱気に包まれ、参加者から「大満足！」という感想も寄せられました。

11. 「あれでいいのか？ NHK会長選びと原発震災報道」 2011. 5. 22



- 2011年5月22日、大阪で「NHK問題大阪連絡会」「NHK問題京都連絡会」と合同で市民集会を行いました。
- 3月11日に起きた東日本大震災と福島原発事故を踏まえて、報道のあり方を問う、という集会でした。
- また、1月に起きたNHK会長選びにおける経営委員会の迷走劇について、醍醐聰氏から問題提起と解決の展望が示されました。参加者は満席の180人。

12. メディアを考えるつどい 「震災・原発報道とメディア」

2011. 7. 17



- 2011年7月17日 兵庫県農業会館で「震災・原発報道とメディア」と題して集会を行いました。
- 講師は科学者の中川益夫氏とジャーナリストの野中章弘氏。
- 参加は220人。原発と報道のあり方に高い関心が示されました。

13. NHKへの番組制作要望 「福井原発事故のシュミレーション番組を」 2011. 8. 2

2011年 月 日

NHK 大阪放送局
局長 堂元 光 様

団体名・又は個人（肩書き）名

住 所

福井県・若狭湾原発群の実態と事故を想定した番組の制作を要望します

貴局の日頃の報道活動に敬意を表します。

さて、2011年3月11日に発生した東日本大震災についての、貴局の報道に多くの批判を耳にします。また、東京電力・福島第一原子力発電所事故について、東電や政府の発表を無批判に報道してきたことへの不信感は根強いものがあります。事故以前に行なわれた地震の歴史的検証に基づく科学的な国会質問・公述、福島第一原発への地元団体の質問等を無視してきた貴局をふくむマスコミへの批判は、より以上に高まっています。それはマスコミの生命である「ジャーナリズムの喪失」を憂う声でもあります。

福島第一原発事故の恐怖は、一度と招いてはなりません。地震国日本で、いま54基の原発が存在し、17基が稼働しています。（2011 6 20現在）

近畿圏に最も近接する福井県・若狭湾沿岸に建設されている原発は「もんじゅ」を含めて14基もあります。（敦賀原発建設段階の2基は除外）

- 世界を震撼させたレベル7の福島原発の事故は、日本中の原発の危険性を示している。
- 大阪・京都・兵庫の視聴者団体は、6月17日と8月2日、NHK大阪放送局を訪れ、原発報道に関し5項目の申入れをしました。
- その中で地元放送局は地元の原発を取材してほしいと「福井県・若狭湾の原発群の実態と事故のシュミレーション番組制作」を要望しました。それには100を超える団体の賛同署名を添付しました。



おわり

2008～2011年

NHK問題を考える会(兵庫)